

学校ホームページにカラー版あります！

ぜんこうもくひょう

全校目標 『GROW UP!』 ~みんなとそだてるココカラの木

特別企画

今回の号では、本校の地域支援室でLS（リーディングスタッフ）を担当している富本先生に、研修会の内容を報告していただきます！子どもたちを取り巻く「性」の課題や、「性犯罪」から子どもたちを守るための重要なヒントとなる貴重なお話が聞けた様ですので、是非、このお便りを通して保護者の皆様とも情報共有し、今後の「ココカラ学習」の充実に向けて一緒に考える機会としていきたいと思っております。



2021年10月14日（木）羽曳野市主催の研修会（ZOOMを使っのONLINE研修）

題名：「子どもへの性教育・その伝え方～大切な子どものからだ・心・性を守るために大人のできること～」

講師：ウィメンズセンター大阪 SAP子どもサポートセンター代表 原田 薫さんの研修を受けてきました。キーワードをお伝えします。

ウィメンズセンター大阪とは・・・

1984年「女のためのクリニック準備会」として活動スタート、2004年からは大阪・天王寺で「はるウィメンズクリニック」を併設した「女性のための健康支援センター」に、電話相談やカウンセリング、鍼灸・アロマ・整体などを実施するとともに、講師派遣や各種講座の企画も行い、「女のからだは女のもの」をモットーに、女性の身体と性、生き方について発信を続けている。また2010年4月に開設した「性暴力救援センター・大阪 SACHICO」の事務局として、支援員の養成・育成等にも携わっている。

SAP子どもサポートセンターとは・・・

19歳までのすべての子どもたちの「からだ」と「心」と「性」を守る地域づくりを目指して、子どもへの性暴力防止のための予防・啓発・早期発見・再発防止等に関する活動をおこなうため、電話相談事業「サチッコ」及び、「CAP (Child Assault Prevention=子どもへの暴力防止教育)」事業を中心に、子どもの様々な性暴力被害（性的虐待、レイプ・強制わいせつ又はデートDV等）の発生を予防するとともに、早期に発見・適切な対応を行うため、社会への意識啓発と効果的な情報提供を行うことを目的とし設立。

大切な子どものからだ・心・性を守るために子どもの視点に立った予防教育の重要性

- ①未然防止 ②発生防止 ③悪化防止 ④再発防止

子どもの「もしも・・・」に備えるため正しい知識や適切なスキルを持つために毎年実施・繰り返し実施する必要性がある。

性とからだについて学ぶこと → 自分の性とからだは、自分のもの → 自分を大切にすること → 自分を守る力に

性教育は人権教育

- ①安心・安全な性 ②自己決定できる性 ③お互いを大切にできる性

- そのため、性的な関係になるには『真の同意』が必要。『真の同意』とは
 (1) お互いの「力の差」がない (2) 常識の中で良いか悪いかをお互いが知っている (3) 起こりうる悪い結果も、お互いが知っている
 (4) 「やらない」という選択があることを最初からお互いに知っている (5) お互いに相手を大切に思う気持ちがある
 (6) お互いの意思決定が自発的になされている

※マスターベーションも適切におしえてあげてほしい。ルールは①人に見せない・手伝わせない②清潔な手でする※

教育現場で

- 被害者が相談する33%は教員。「誰がどうした」短く聞き取る。初めて聞いた人が詳しく聞かず通報することが大事。
- 体をべたべた触ってくる、または触らせてくる子どもには、しっかり目を見て境界線を示す。
- プライベートゾーンは水着で隠れるところと口、だけ他の場所ならOKということではない。他の場所でも嫌なら「No」という教育を。



性暴力に対する間違った思い込み・迷信・偏見

根拠がなく事実ではないのに信じてしまっている様々な社会的思い込みがあり、二次被害につながることもある。

1 性暴力は加害者の性欲が強すぎてコントロールできずに起きている。 **間違い**

→ 支配・征服・所有の欲望が性的行為というカタチをとったもので、多くは計画的犯行である。

2 襲われるのは、暗い夜道や、ひと気ない場所で、加害者は見知らぬ人である。被害女性は、挑発的な服装をしていることが多い。 **間違い**

→ 加害現場は屋内が多く、顔見知りが多い。挑発的な服装などの特定性はない。

3 子どもが「性暴力を受けた」と言ったとしても、嘘だったりおかげさまで言っているだけ。すぐに忘れてしまう。 **間違い**

→ 性暴力被害について子どもはウソをつかない。年少期の被害は、長期にわたって影響を及ぼす。

※詳しくはウィメンズセンター大阪のHPをご覧ください。(http://wco.life.cocan.jp/)

サチッコ（電話相談）19歳までの子ども対象（TEL06-6632-0699水曜～土曜14:00～20:00）